



1



2

1. サンフレッチェ広島ของทีมカラーの紫を基調に、中四国エリア最大の2万8,520席の観客席を擁する 2. 高さ約3.5m×横幅約3.6mのモニュメントはフォトスポットにも

## TREND EYES

# エディオンピースウイング 広島

市中心部ににぎわい創出の  
中核機能を担う  
「まちなかスタジアム」

広島市の中心部にサッカーJ1サンフレッチェ広島の新たなホームとなるサッカースタジアム「エディオンピースウイング広島」が2月、誕生した。

同スタジアムは広島市中央公園内に開設。アクセスは広島電鉄「原爆ドーム前」電停から徒歩8分、アストラムライン「県庁前」駅からも徒歩10分。敷地面積は4万9914㎡、地上7階建て。観客席数は中四国エリア最大の2万8520席を擁する。

もともと広島は戦前からサッカーが盛んな地。戦後は東洋工業蹴球部（後のマツダサッカー部）が1960年代に日本サッカーリーグ4連覇を果たすなど、埼玉、静岡と並ぶ「御三家」として知られてきた。その後継となるサンフレッチェ広島は93年からJ1リーグに参加、リーグ優勝もこれまで3度果たしている。

ただし従来、サンフレッチェがホームとする92年開設の「エディオンスタジアム広島」（広島市安佐南区）は交通アクセスや施設の老朽化などの課題を抱え、都心部への新スタジアムの開設を求める声は根強く、J1初制覇翌年の2013年には、37万筆以上の署名を集めた。これを受け、事業主体となる広島市ではサッカースタジアム検討協



3



5



4

3.国内最大級の高さ9m×横幅32mの大型ビジョンを備える。ピッチと客席の距離は最短8mと臨場感ある観戦環境  
4.天然芝の育成に必要な通風を確保するため、スタンド両サイドに大きな開口部を設ける 5.市内を流れる旧太田川にもほど近い立地

議会を設置、広島市中央公園内に公園と一体的にスタジアムを建設する基本計画を20年に策定。年間を通じて多くの人が訪れる「スタジアムパーク」を目指し計画が進められ、22年2月に着工した。施工は大成建設㈱JV。

23年3月にはサンフレッチェ広島が指定管理者に選定され、同年6月に広島市に本社を置く家電量販店㈱エディオンが命名権を取得している（10年間で10億円）。

総事業費285億円は、県と市が各30億7200万円を負担するほかエディオンが30億円、マツダが20億円のほか、地元経済界が約18億円を集め、さらに個人の寄付も6億円超に上るなど、官民連携によるプロジェクトといえる。

建設場所の広島市中央公園は、広島平和記念公園や原爆ドームなどと南北一直線上に結ばれる「平和の軸線」上にあり、スポーツ、文化を通じて平和を創造する場と位置づけられ、地域交流や国際交流を促進する場としてもふさわしい立地といえ、市および県全体の活性化にもつながることが期待されている。

スタジアムのコンセプトは「歓声を憩いをまちなかに」。屋根付きのサッカースタジアムとしてはわが国初の都心部に位置するため、多くの市民に日



6



7

6.7.8.PREMIUM SKY BOX LOUNGE、SUITE TERRACE など多様なラウンジやルームを貸し出す



9



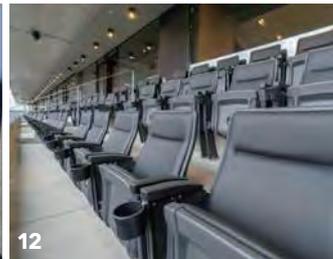
8



10



13



12



11

9.10.11. 人数や用途に応じて  
 選べる13種類のバラエティー  
 シートを用意。全種類1席当  
 たり一律4,000円で利用可能  
 12.PREMIUM SEAT など快  
 適性の高い座席も豊富に用  
 意する  
 13. 席種はJリーグ最大級の  
 42種。どの席からも観戦しや  
 すいよう配慮

常に親しまれ、何度でも訪れたくなるような魅力的な空間づくりを目指すとともに、「国際平和都市・広島」に相応しいシンボリックなランドマークとなるよう、世界基準の最新設備が盛り込まれている。

新国立競技場（東京）と同サイズの国内最大級の大型ビジョン（高さ9m×横幅32m）、サブビジョン（同9m×16m）、全周380mのリボンビジョン、さらにムービングライト16台やBOSE社の最新音響設備などにより、照明と音響が連動した演出を実現する。また座席はJリーグ最大規模となる42種類の席種を用意する。

スタジアム内の飲食機能も充実を図り、3階コンコース売店を中心に2階、5階の計3フロアに全16店で構成。三井グループの飲食提供企業、エムサービス(株)（東京都港区）と包括契約を締結、「世界のリーグを食べつくせ!!」をテーマとした「スタジアムグルメ」の提供を売り物にする。24年シーズンの開幕時にはイギリス、スペイン、ドイツなど全9か国と1つの地域の代表的なメニュー約150点投入予定。さらに選手とコラボして開発するオリジナルメニューも提供する。

また付帯施設として「広島サッカーミュージアム」を1階に併設（約990



14



16



17



15

14.『キャプテン翼』作者 高橋陽一氏が書き下ろした横幅8m62cm、高さ2mの巨大壁画「Peace Wall」は平和への願いを込める

15.国内のサッカースタジアムで初の常設センサリールームは4階メインスタンドテラスに。屋内外合計で87㎡

16.17.2、3階の吹抜け空間を活かしてボルダリングやネット遊具を配したキッズルームは試合のない日でも利用可

18.ファナティクス・ジャパンとの共同運営によるオフィシャルストア  
19.20.メキシコ料理タコスを提供する「タコサンチェス」をはじめ、3フロアに世界のグルメが楽しめる16の飲食店を配置



18



19



20

さらに、2、3階部分の吹抜け部分を活用し、ネット遊具やボルダリングなどを備え幼児連れのファミリーなどが遊びながら観戦できる「キッズルーム」(68㎡)および「キッズスペース」(73㎡)も用意。また国内のサッカースタジアムで初となる常設の「センサリールーム」(聴覚・視覚など感覚過

ることを目指すという。またシヨップについては世界最大級のデジタルスポーツプラットフォーム企業「angos inc. (ファナティクス米国)の日本法人ファナティクス・ジャパン合同会社とサンフレッチェの共同運営によるシヨップ「ピースウィングオフィシャルストア」(約400㎡)を2階に開設。クラブ創立から約30年間培ってきた商品開発、販売のノウハウと、グローバルに展開するファナティクスのノウハウを融合、クラブ公式グッズやスタジアムオリジナルグッズのほか広島県産品やお土産も販売、収益向上と利用者への新たな購買体験の提供を図り、広島の新観光スポットの1つとなることを目指すという。

またシヨップについては世界最大級のデジタルスポーツプラットフォーム企業「angos inc. (ファナティクス米国)の日本法人ファナティクス・ジャパン合同会社とサンフレッチェの共同運営によるシヨップ「ピースウィングオフィシャルストア」(約400㎡)を2階に開設。クラブ創立から約30年間培ってきた商品開発、販売のノウハウと、グローバルに展開するファナティクスのノウハウを融合、クラブ公式グッズやスタジアムオリジナルグッズのほか広島県産品やお土産も販売、収益向上と利用者への新たな購買体験の提供を図り、広島の新観光スポットの1つとなることを目指すという。

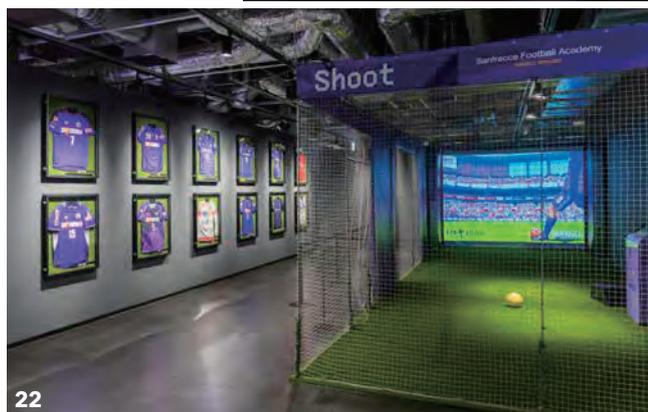
。被爆からの復興とサッカーの関わりをはじめ広島におけるサッカーの歴史を学べるほか、身体を動かしながら楽しめる体験型コンテンツなどを用意、コアなサッカーファンだけでなく誰もが楽しめる場とする。

21.22. 実際にボールを使う体験型コンテンツも用意するミュージアム

23. 創立31周年を迎えたサンフレッチェ広島の軌跡などを展示



21



22



23

敏の症状がある人やその家族が安心して過ごせる部屋、87㎡、定員22人）の存在も特筆されよう。

運営面では、年間約20日のサンフレッチェのホームゲーム日以外に、ラグビーなどの競技にも貸し出す。また観光スポットとして一般客の体験、見学を可能とする「スタジアム・ツアー」も実施（3月）。さらにスタジアム内のフィールドをはじめスタンド、ラウンジなどさまざまなスペースを法人などのイベント向けにレンタルするプランも用意し、収益化を図る。

なお、同スタジアムの整備と併せて、その東西両側に、N.T.T都市開発株を代表とするグループがロボテックを活用し公園を整備、一帯を「ひろしまスタジアムパーク」「図表1」として今年8月にオープン予定（中央公園広場エリア等整備・管理運営事業）。西側は旧太田川に面した立地を活かし、水辺を楽しむSUPなどのアクティビティやリバービューレストランなどでにぎわいを生む「水辺ひろば」（約1万1800㎡）、東側は天然芝を敷き詰め、市民のイベントなどに日常的に活用できる緑豊かな「芝生ひろば」（約8万5600㎡）「図表2」とする。両ひろば

内には計6棟の商業棟「HIOPA」（ヒロパ）を整備（スタジアム内1〜3階にも店

舗を展開）、エリア一体となって、多様な体験や楽しみ方、広島の文化・魅力を発信する計画だ。

同じ広島市中央公園内のスタジアムから南に約500mの旧市民球場跡に昨年3月開設された「HIROSHINA GATE PARK」はすでに1年を待たずに初年度計画を上回る集客を実現するなどまちなかのにぎわいづくりのトリガーとなっているが、8月開業のスタジアムパーク以外にも、広島城の三の丸の整備事業、至近の広島県庁の敷地の有効活用事業など、周辺エリアでは中心市街地の再活性化に向けたプロジェクトが目白押し。これらの点をつなぎ、面として都心エリアの魅力の再創造を図っていくとする。

中国財務局ではサッカーの観戦者数（年間20試合）が、移転前の約30万人から約45万人に伸び（1試合平均2万2500人）、ミュージアムや飲食、物販、イベントなどでの総来場者数は年間265万人と見込む。併せてスタジアムおよび周辺広場の建設投資や初年度の来場者数増加による経済波及効果を約831億円と試算「図表3」。前述のHIROSHINA GATE PARK、26年度開業予定の三の丸の整備事業の合計で約1161億円と、大きなインパクトを生むことが予想されている。

【図表1】ひろしまスタジアムパーク 配置図

出所：NTT都市開発



**VOICE**

**スタジアムの大きな特徴 3つのポイント**

株サンフレッチェ広島  
エディオンピースウイング広島所長兼  
指定管理部長  
**信江 雅美氏**

当スタジアムは広島市が事業主体となり整備を行ない、2023年12月に完成に至りました。その特徴は大きく3つあります。

1つは、当然ながら世界基準の試合環境、観戦環境を実現し、Jリーグのみならず国際試合も開催可能な点です。

2つめは多目的化・複合化。試合開催日以外にこの空間をどう活用していくのか、という視点から、記者会見室をはじめ約80あるスタジアム内の各室を試合開催日以外は他の目的に活用します。また、ミュージアムやショップを複合することで、365日、試合とは関係なく利用を可能とし、にぎわいのある空間を創出していきます。

3つめが最も重要な点ですが、初めて来ていただいたお客様を大切に、ということです。そのためにメインとバックスタンドのすべての座席の前後幅は85cmを確保しています。狭くすれば収容人数はさらにふやせたかもしれませんが、私たちはそれよりも初めて来られた方が快適に感じていただける環境づくりを優先しています。(談)

【図表2】芝生ひろば イメージパース

©広島市



※イメージパースは今後変更になることがあります

【図表3】経済波及効果

施設名	経済波及効果		
	来場者数増加	建設投資	計
①スタジアムパーク	367.2億円	464.5億円	831.7億円
②HIROSHIMA GATE PARK	183.8億円	46.0億円	229.8億円
③広島城三の丸	21.6億円	78.7億円	100.3億円
計	572.6億円	589.2億円	1161.8億円

※「平成27年度広島県産業関連表」を用いて算定  
※施設整備費および広島県内の1年間の需要増加の見込みから算定  
出所：中国財務局 経済調査課

中央公園広場エリア等整備・管理運営事業

事業名	広島サッカースタジアム等整備事業
敷地面積	約5万2,400㎡
規模	地上1階および2階
棟数	全6棟
延床面積	約3,700㎡
開業	2024年8月
事業者	ACTIVE COMMUNITY PARK (代表法人：NTT都市開発株) 事業主：株エディオン、広島電鉄株、株RCC文化センター、株中国新聞社 実施法人：NTTアーバンバリューサポート株、株NTTファシリティーズ、大成建設株、日本工営都市空間株、株UID)
設計・監理	株NTTファシリティーズ、株UID、大成建設株、日本工営都市空間株
施工	大成建設株

エディオンピースウイング広島 施設概要

事業名	広島サッカースタジアム等整備事業
所在地	広島市中区基町15
敷地面積	約4万9,914㎡
延床面積	約6万5,878㎡
規模	地上7階建て
客席数	2万8,520席
開業	2024年2月
交通	広島電鉄「原爆ドーム前」電停徒歩8分、アストラムライン「県庁前」駅徒歩10分
整備事業者	代表企業：大成建設株中国支店 構成企業：株フジタ広島支店、広成建設株、株東畑建築事務所 広島支所、株環境デザイン研究所、復建調査設計株 広島支社、株あい設計、株シーケイ・テック
施工	大成建設株JV
指定管理者	株サンフレッチェ広島
年間集客目標	265万人
総事業費	285億円